



2018年度 事業報告書

2018(平成30)年4月1日 ～ 2019(平成31)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

学校法人 聖マリアンナ医科大学の沿革(概要)

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
1971年1月27日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971年4月1日	東洋医科大学開学(入学定員80名)
1972年7月1日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973年4月1日	聖マリアンナ医科大学に改称(入学定員を100名に増員)
1973年6月11日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974年2月12日	大学病院(本館)開院
1976年1月1日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977年3月30日	大学院医学研究科設置認可
1977年4月1日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979年3月24日	看護専門学校設置認可
1979年4月1日	看護専門学校第1、2看護学科開校(入学定員40名)
1980年7月1日	大学病院(別館)開院
同	救命救急センター開設
1980年10月14日	視聴覚教育センター設置
1983年7月9日	メディカル・フォトセンター設置
1983年10月1日	熱傷センター開設
1986年4月1日	看護専門学校第1看護学科(入学定員を80名に増員)
1987年5月25日	横浜市西部病院開院
1988年3月31日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988年7月6日	MR棟開設
1988年12月26日	大学院附属研究施設設置
1990年10月4日	附属研究所(難病治療研究センター)開設
1991年12月9日	ハートセンター開設
1993年4月1日	糖尿病センター開設
1993年11月26日	大学病院特定機能病院承認
1994年5月16日	夜間急患センター開設
1995年9月1日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996年8月1日	超音波センター開設
1996年10月5日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997年4月1日	医学総合情報センター(図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター)の3施設を統合開設
1997年4月2日	内視鏡センター開設
1997年11月1日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999年4月1日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001年4月1日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001年8月1日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
2003年4月1日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置
2003年6月25日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004年11月1日	知財事業推進センター開設
2005年4月1日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006年2月1日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007年1月22日	日本医療機能評価機構認定
2007年4月1日	腫瘍センター開設
2008年2月6日	機械棟（エネルギーセンター）開棟
2008年4月1日	教育棟開棟
2008年6月16日	東横病院新規開院
2008年11月1日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009年2月1日	キリスト教文化センター開設
2009年3月2日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009年4月1日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010年3月1日	総合周産期母子医療センター開設
2010年4月1日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変
2011年4月1日	総合教育センター開設
2011年10月3日	腫瘍センター整備拡充
2011年12月16日	高神大学医学部（韓国 釜山）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012年4月2日	マリアンナさくら保育園開園
2013年7月3日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013年11月13日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014年4月22日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015年1月26日	江原国立大学医学部（大韓民国）との大学間交流に関する協定を締結
2015年4月1日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015年4月1日	臨床研究データセンター開設
2015年11月9日	同済大学医学院（中国 上海市）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016年4月1日	情報部門及びIT戦略推進室設置。肝疾患医療センター開設
2016年7月1日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016年10月6日	ハワイ大学医学部（アメリカ ハワイ州）との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017年4月1日	感染症センター開設
2017年10月1日	てんかんセンター開設
2018年3月23日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018年4月1日	国際交流センター開設
2018年4月1日	メディカルシミュレーションセンター開設
2018年4月1日	脳卒中センター開設
2018年4月1日	リウマチ・膠原病生涯治療センター開設
2018年4月1日	こどもセンター開設

建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

2018 年 度 年 譜

4月 2日 (月)	入職式	1月 4日 (金)	仕事始め・賀詞交歓会
7日 (土)	医学部入学式	6日 (日)	看護専門学校第Ⅰ期入学試験
9日 (月)	看護専門学校入学式	9日 (水)	看護専門学校第Ⅰ期入学試験合格発表
5月 10日 (木)	実験動物感謝祭	29日 (火)	医学部第1次入学試験
28日 (月)	理事会・評議員会(決算)	2月 5日 (火)	医学部第1次入学試験合格発表
6月 15日 (金)	看護専門学校祭	9日 (土)	医学部第2次入学試験
16日 (土)	看護専門学校祭	〃	第113回医師国家試験
8月 1日 (水)	東医体(8月15日まで)	10日 (日)	医学部第2次入学試験
10月 3日 (水)	解剖ご遺体慰霊法要並びに学内追悼 ミサ	〃	第113回医師国家試験
4日 (木)	創立者故・ステファノ明石嘉聞博士と 亡くなられたすべての教職員学内ミサ	15日 (金)	医学部第2次入学試験合格発表
13日 (土)	開学記念日	17日 (日)	第108回看護師国家試験
19日 (金)	看護専門学校戴帽式	3月 1日 (金)	医学部卒業証書・学位記授与式
27日 (土)	看護専門学校推薦入学試験	5日 (火)	定年退職者感謝会
30日 (火)	看護専門学校推薦入学試験合格発表	7日 (木)	看護専門学校卒業証書授与式
〃	永年勤務者表彰式	18日 (月)	第113回医師国家試験合格発表
11月 11日 (日)	医学部第1次推薦入学試験	21日 (木)	看護専門学校第Ⅱ期入学試験
16日 (金)	医学部第1次推薦入学試験合格発表	22日 (金)	看護専門学校第Ⅱ期入学試験合格発表
22日 (木)	聖医祭	〃	第108回看護師国家試験合格発表
23日 (金)	聖医祭	25日 (月)	理事会・評議員会(補正・当初予算)
25日 (日)	医学部第2次推薦入学試験	27日 (水)	大学院学位記授与式
29日 (木)	医学部第2次推薦入学試験合格発表		

目 次

I. 法人の概要

1. 法人の概況	1
2. 設置する学校・学部・学科	4
3. 収益事業	4
4. 役員(理事・監事)および評議員関係	4
5. 大学の主な役職者	5
6. 教職員数	6
7. 法人組織図	7

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況	8
1—1 大学病院	10
1—2 東横病院	10
1—3 西部病院	11
1—4 多摩病院	11
1—5 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック	11
2. 入学試験状況	12
3. 学生在籍者数	14
4. 国家試験合格状況	14
5. 博士(医学)の学位授与状況	15
6. 補助金交付状況	16
7. 主な施設・設備の更新等	17

III. 財務の概要

1. 財務の概況	18
2. 学校法人会計	19
3. 収益事業会計(多摩病院)	28
4. 附属病院等の状況	29

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 法人組織の改革

わが国は現在、医科系大学に経営基盤の強化を求める一方で働き方改革を提唱しています。また少子高齢化による社会保障費の増加を計画的に抑制し、財政健全化を進めていくためにも、医学・医療体制は抜本的な改革を余儀なくされています。加えて 2019 年 10 月から消費税率の引き上げも予定され、本学を取りまく経営環境は一層厳しさを増しています。

こうした中、本学では 2017 年度からの重点的な取組みとして、永続的な教育・研究・診療水準の向上と活性化の実現を目的として①病院群改革、②ICT 活用による教育充実、③ダイバーシティ(多様性)の拡充、④業務効率の追求と無駄の排除、⑤財務体質の強化、⑥働き方改革、⑦中長期的展望に基づく戦略的投資の 7 つのテーマについて、教職員が職種の壁を越えて検討する「イノベーション 7」を進めてまいりました。この取組みは 2019 年 4 月に開催される報告会をもって一つの区切りとなりますが、ここで浮き彫りになった現状の課題や得られた知識、解決のためのアイデアを教職員一人一人が次年度以降も引き続き検討し対応していくことが求められています。

また、2011 年度より菅生キャンパス・リニューアルを準備、計画してまいりましたが、本年度から実際に既存施設の解体やインフラ整備が進められました。翌 2019 年度にはいよいよ当該事業の中心となる大学病院新入院棟建設に着手します。このリニューアル事業を推進、実現する資金の一助として、本年度より『創立 50 周年記念事業募金』を開始し、聖医会や父兄会(2019 年 4 月より保護者会に改称予定)等の関連団体と密に連携した、積極的な寄付募集を展開しています。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

2016 年度入学者より、グローバルスタンダードに基づく新カリキュラムを導入し、学年進行により適用し、第 3 学年まで施行しています。新カリキュラムの運用にあたっては、第三者評価を目的としたカリキュラム評価委員会を設置し、外部の有識者にも委員として参画いただき、PDCA サイクルを効率的に回しております。さらに第 4 学年では新たな試みとして、昭和薬科大学との連携による多職種連携セミナーを開催し、教職員および学生を相互派遣したうえで、チームワークと情報共有の重要性を教育しています。また、2020 年度より新たに全国医学部にて正式実施となる Post-CC OSCE について、第 6 学年においてトライアル実施し、臨床実習教育後の臨床能力の向上を図ります。

教育設備面においては、新たに臨床実習において学生用電子カルテシステムおよび電子ポートフォリオを導入し、より実際の臨床に即した環境下での学習が可能となりました。さらに昨今の医療シミュレーション教育の重要性を鑑み、新たにメディカルシミュレーションセンターを設置し、医療安全教育および技能教育の向上を図っています。

また、国際交流の拡充に向け国際交流センターを設置し、本年度は新たに国立成功大学(台湾)

と学術交流協定を締結しました。

2) 大学院

入試改革として、2013年度より導入した社会人大学院制度においては、本年度1名の修了者を輩出しています。

3) 看護専門学校

教育面では、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、100単位3,030時間の授業時間に加えて学外ゼミナール・医療安全教育等を実施し、総学習時間は3,600時間余りとなりました。また、学生の基礎学力強化のため、始業前・放課後の短時間学習、休業中の集中学習、今年度は新たに習熟度別学習の教科を増やしています。さらに ICT 利活用による学校ポータルサイトの充実、オンラインストレージを活用した学習支援を推進しています。

教職員の自己研鑽・相互研鑽においては、看護研究研修・パフォーマンス評価研修会・コミュニケーション研修等を開催しました。学校全体の評価としては、「自己点検自己評価」の結果をホームページに掲載し、2020年度第1回「学校関係者評価」を実施しています。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

2018年4月より、内科、整形外科、小児科が緊密に連携し、各ライフステージに応じて適切な治療を提供する日本初の「リウマチ・膠原病生涯治療センター」を開設しました。また、脳卒中ケアユニットや病棟リハビリテーション室を有する包括的脳卒中センターとして「脳卒中センター」を開設しました。さらに、小児科および外科系小児疾患に関わる診療科の医師および看護師等が連携し、高度かつ先端的な小児医療を集約的に提供する「こどもセンター」を開設しました。てんかん専門医を中心に、小児科、脳神経内科、神経精神科、脳神経外科、救急科が連携し、薬物治療や安全なてんかん外科治療等の最先端治療を提供するとともに、2018年4月より「てんかん診療拠点機関」として神奈川県より指定を受けました。

2) 東横病院

2018年10月より、新たな診療科として婦人科を設置しました。これにより、「消化器病センター」「心臓病センター」「脳神経・脳卒中センター」「失神センター」「生活習慣病センター」「健康診断センター」の全6部門に婦人科を加え、急性期医療から婦人科疾患、日常の健康管理、予防まで幅広いニーズに応え続ける病院になりました。また、腎症予防外来を開始し、専門外来の充実を図っています。

3) 西部病院

2018年8月の病院機能評価受審に向け、「S.A.B.Cの4段階評価の中で最も良い評価であるS評価数を前回より増やし、B評価数を0にする。」との目標を立て準備に取り組み、その結果、一部B評価があったものの、S評価を前回より増やす事ができ、大幅に前進する事ができました。また、11月には卒後臨床研修評価機構(JCEP)においても、高い評価をいただいています。

設備面においては、MRI装置とCT装置の新機種を導入し、MRI装置は1.5テスラから3テスラに、CT装置は320列にバージョンアップしたことにより、診断能力の向上を図ること

ができ、患者さんからの信頼や、近隣医療機関からの好評に繋がっています。今後は、電子カルテの導入や患者支援センターの設立、地域包括ケア病棟の開棟に取り組む予定です。

地域イベントとして、昨年に引続き「医療体験セミナー」を開催し、地域の小中学生より多数の応募がありました。

4) 多摩病院

2017年6月から「総合診療センター」を開設し、総合医を育てる医育機関として、また聖マリアンナ医科大学の教育、研修施設としてその役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の2つを柱とし、両者が連携を取り診療、教育に当たり、初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なっています。また、新たに骨密度測定装置を導入、MRI撮影装置および結石破碎装置の更新を行い、3Dマンモグラフィ・CT装置を含め高額医療機器の共同利用や健康診断等に有効的に活用しています。今年度、病院機能評価の更新受審を行い、院内の提供医療および環境の質的改善を図りました。

5) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

乳がんを対象に凍結治療を臨床試験として実施しました。2018年8月には川崎市乳がん検診のweb予約システムを導入し患者の利便性向上を図りました。また、定期的な患者向け勉強会として、がん哲学外来新百合メディカル・カフェにおいて講演会を実施したほか、「麻生区健康づくりのつどい」にブースを出展しました。

(4) 被災地支援活動

過去に起きた幾多の災害で得た教訓から、平常時からの連携体制構築が重要であると認識されており、行政機関や地域医療機関との訓練や研修に積極的に参画しています。今後もDMAT（災害派遣医療チーム）活動や医療救護班派遣の経験を活かし、有事の際に迅速かつ効果的な医療支援が実施できるよう、平常時からの備えを不断に行っていきます。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科
開学年月日 1971年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科
開学年月日 1977年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程
開校年月日 1979年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013年3月29日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営
指定管理者指定日 2015年6月24日
所在地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事・監事)構成

理事・監事	氏名	任期
理事長	明石勝也	2017年4月1日～2020年3月31日
学長	尾崎承一	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	三宅良彦	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	北川博昭	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	田口芳雄	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	久保田恭司	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	本田伸夫	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	小宮清	2017年4月1日～2020年3月31日
常勤理事	山本真士	2017年4月1日～2020年3月31日
理事	菊岡正和	2017年8月1日～2020年3月31日
監事	大石忠生	2017年4月1日～2020年3月31日
監事	清水至	2017年4月1日～2020年3月31日

(2) 常勤理事構成

理事長 明石勝也 他常勤理事8名 (2019年3月31日現在)

(3) 評議員構成

評議員 明石 勝也 他評議員 29名
(任期：2017年4月1日～2020年3月31日)

(4) 顧問

特別顧問 1名 (任期：2017年4月1日～2020年3月31日)
顧問 2名 (任期：2017年4月1日～2020年3月31日)

(5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

2018年 5月28日 2019年 3月25日

評議員会開催日

2018年 5月28日 2019年 3月25日

常任役員会開催日

2018年 4月 9日 2018年 4月23日 2018年 5月28日
2018年 6月25日 2018年 7月30日 2018年 9月25日
2018年10月29日 2018年11月26日 2018年12月25日
2019年 1月28日 2019年 2月14日 2019年 2月25日
2019年 3月25日

5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	尾 崎 承 一	
医 学 部 長	加 藤 智 啓	生化学教授
研 究 科 長	伊 東 文 生	内科学（消化器・肝臓内科）教授
大 学 病 院 長	北 川 博 昭	外科学（小児外科）教授
東 横 病 院 長	宮 島 伸 宜	外科学（消化器・一般外科）診療教授
西 部 病 院 長	田 口 芳 雄	脳神経外科学（脳神経外科一般）特任教授
多 摩 病 院 長	鈴 木 通 博	内科学（消化器・肝臓内科）教授
プレスト&イメージング 先端医療センター」 附属クリニック院長	福 田 護	外科学（乳腺・内分泌外科）特任教授

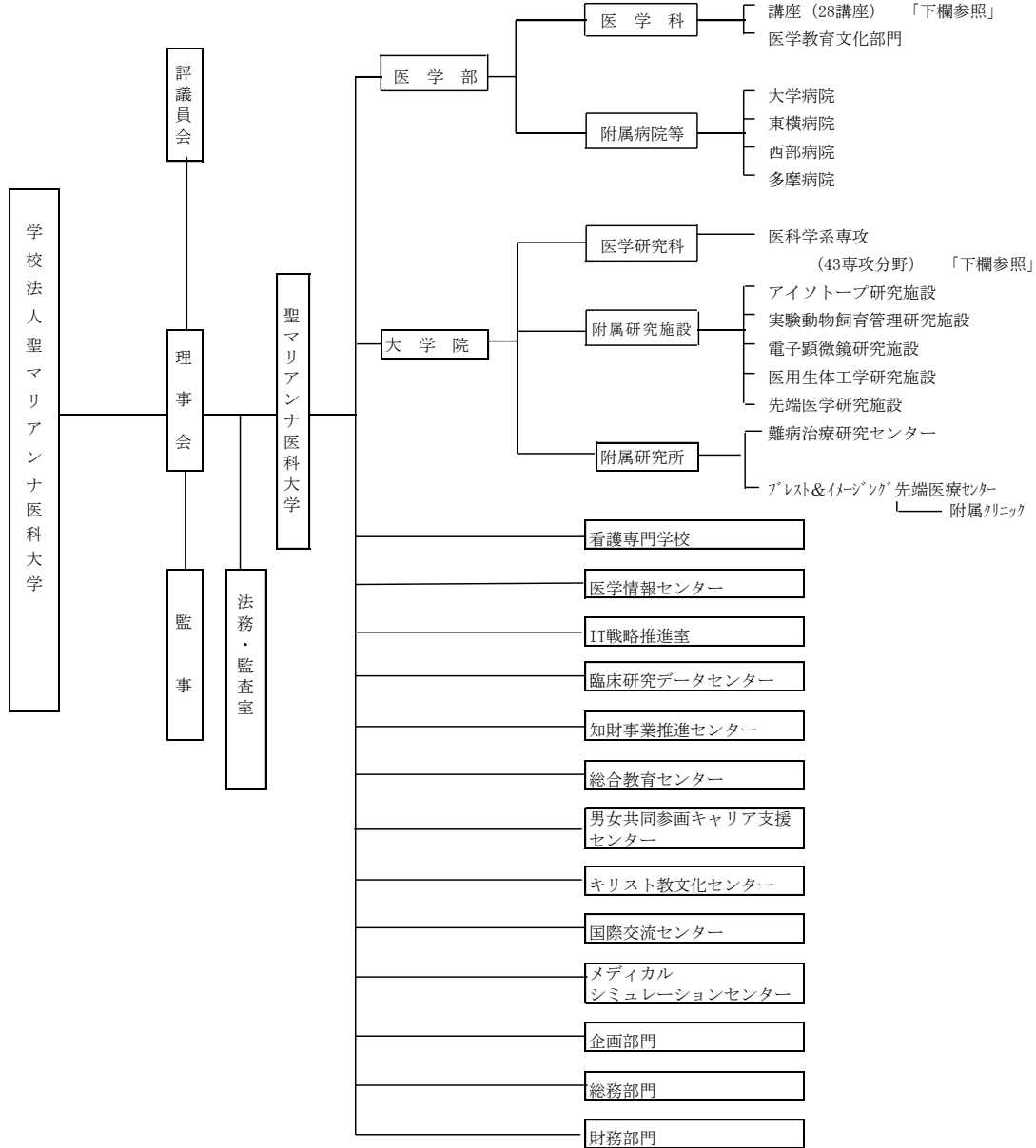
6. 教職員数 (2019年3月1日現在)

区 分		医学部	大学病院	東横病院	西部病院	多摩病院	パレスト&イ メーションが 附属クリニッ ク	看護専 門学校	大学院	大学院 研究施 設等	合 計
教員	学長	1									1
	教授※1	94	(54)	(8)	(9)	(8)	(1)		6	1	101
	准教授	67	(35)	(2)	(13)	(3)	(1)		1	1	69
	講師	141	(74)	(6)	(15)	(17)	(1)		2	7	150
	助教	572	(286)	(23)	(83)	(68)	(3)		1	3	576
	小計(1)	875	(449)	(39)	(120)	(96)	(6)	0	10	12	897
職員	その他医師		89	1	17	15	1				123
	看護師	10	1,084	141	478	370	9				2,092
	薬剤師	1	80	6	30	25	2				144
	臨床検査技師		97	19	29	22	4				171
	放射線技師		70	11	27	22	6				136
	O T ・ P T ・ S T		29	9	21	18					77
	医・診療技術員		61	5	25	19					110
	栄養士等		20	1	9	4					34
	事務員	194	164	32	70	61	6	4		1	532
	研究技術員	39								12	51
	教員							22			22
	その他	10	66	1	12	19					108
小計(2)	254	1,760	226	718	575	28	26	0	13	3,600	
合計(1)+(2)		1,129	1,760	226	718	575	28	26	10	25	4,497
その他(研修医)			87		10	14					111
総 計		1,129	1,847	226	728	589	28	26	10	25	4,608

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士、調理師
事 務 員	事務、クラーク、秘書、司書、メディアコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、医療技術助手、調理員、電話交換手、運転手、工務技術者、技能員、技術員

※1 教授=特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科28講座			医学研究科43専攻分野			
解剖学	内科学	腎泌尿器外科学	生体構造学	脳情報制御医学	産婦人科学	臨床腫瘍学
生理学	神経精神科学	産婦人科学	生体統合制御学	内科学	眼科学	感染症学
生化学	小児科学	眼科学	疾患プロテオーム・分子病態治療学	小児科学	耳鼻咽喉科学	臨床微生物・感染制御学
微生物学	外科学	耳鼻咽喉科学	神経精神科学	麻酔学	疾患バイオマーカー・標的分子制御学	臨床薬理学
薬理学	脳神経外科学	麻酔学	放射線医学	形成外科学	先端医療開発学	病理病態学
免疫学・病害動物学	整形外科	救急医学	皮膚科学	救急医学	分子神経科学	再生医学・免疫病態医学
病理学	形成外科学	臨床検査医学	腎泌尿器外科学	スポーツ医学	臨床再生組織工学	医療情報処理技術応用研究分野
予防医学	皮膚科学	スポーツ医学	健康・環境制御医学	外科学	臨床検査医学	プライマリケア・地域医療学コース
法医学	放射線医学	臨床腫瘍学	法医学	脳神経外科学	遺伝子多型・機能解析学	難治性疾患病態制御学
感染症学			整形外科	応用分子腫瘍学	生活習慣病プロフェッショナル養成コース	最新医学研究コース
			早期探索の研究コース	早期探索の研究コース	未来がん医療プロフェッショナル育成コース	

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況

2018年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- ・ 2018年度女性医師支援担当者連絡会を開催
- ・ NECとICT戦略パートナー包括協定を締結

医学部

- ・ 第3学年早期体験実習において、重症心身（児）施設実習・地域包括ケア実習を導入
- ・ 第3学年総合試験を導入
- ・ 第4学年多職種連携セミナーを開講
- ・ 臨床実習において学生用電子カルテシステムおよび電子ポートフォリオを導入
- ・ 第6学年Post-CC OSCEを導入
- ・ カリキュラム評価委員会の設置
- ・ メディカルシミュレーションセンターの設置
- ・ 国際交流センターの設置
- ・ 国立成功大学（台湾）との学術交流協定を締結

大学院

- ・ 大学院特待生制度を制定し厳正な審査により1名在学
- ・ 「がんプロフェッショナル養成プラン」における第Ⅲ期第3回市民公開講座を開催

大学病院

- ・ リウマチ・膠原病生涯治療センターの開設
- ・ 脳卒中センターの開設
- ・ こどもセンターの開設
- ・ 臨床検査部および輸血部がISO 15189認定を取得
- ・ MitraClip（僧帽弁閉鎖不全症に対する低侵襲カテーテル治療）の開始
- ・ 川崎市消防局と救急現場派遣協定を締結

東横病院

- ・ 婦人科開設
- ・ 腎症予防外来開始

西部病院

- ・ 公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審
- ・ 卒後臨床研修評価機構（JCEP）受審
- ・ MRI装置、CT装置のバージョンアップ

1. 教育・研究・診療活動の状況（2）

多摩病院

- ・ 骨密度測定装置を導入
- ・ MRI 撮影装置および結石破碎装置の更新
- ・ LifeMark コンシエルジュの導入
- ・ 公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審

ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・ がん哲学外来新百合メディカル・カフェ合同新年会
- ・ 麻生区健康のつどいブース出展
- ・ 定期的な患者様向け勉強会
- ・ 乳がんを対象に凍結治療を臨床試験として実施
- ・ 川崎市乳がん検診の web 予約システムを導入
- ・ 乳がん早期発見のための企業向け講演会

看護専門学校

- ・ 職位成果責任の成文化（校長、教務科長職、係長職、専任教員）を行う

1-1 大学病院

開 院 年 月 日	1974年2月12日
許 可 病 床 数	1,208床（稼動病床数 1,007床） [一般病棟 1,156床、精神病棟 52床]
患 者 数	入院延人数 315,653人 1日入院平均 865人 外来延人数 605,073人 1日外来平均 2,079人
診 療 科 等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科（31診療科） 内科総合診療部、呼吸器病センター、ハートセンター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、腎臓病センター、糖尿病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、肝疾患医療センター、総合周産期母子医療センター、こどもセンター、精神療法・ストレスケアセンター、認知症(老年精神疾患)治療研究センター、統合失調症治療センター、腫瘍センター、生殖医療センター、感染症センター、てんかんセンター、救命救急センター、夜間急患センター、健康診断センター（21診療施設）

1-2 東横病院

開 設 年 月 日	1971年4月1日 (2008年6月16日リニューアルオープン)
許 可 病 床 数	138床（稼動病床数 132床）
患 者 数	入院延人数 35,239人 1日入院平均 97人 外来延人数 79,628人 1日外来平均 296人
診 療 科 等	循環器内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、代謝・内分泌内科、婦人科、リウマチ内科・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、放射線科、麻酔科、病理診断科（13診療科） 消化器病センター、心臓病センター、脳神経・脳卒中センター、失神センター、生活習慣病センター、救急集中治療部、健康診断センター(女性検診センターを含む)（7診療施設）

1-3 西部病院

開設年月日	1987年5月25日
許可病床数	518床（稼動病床数450床）
患者数	入院延人数 125,510人 1日入院平均 344人 外来延人数 258,904人 1日外来平均 963人
診療科等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科（25診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター、周産期センター（4診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

1-4 多摩病院

開院年月日	2006年2月1日
許可病床数	376床（稼働病床数376床）
患者数	入院延人数 112,355人 1日入院平均 308人 外来延人数 217,333人 1日外来平均 808人
診療科等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、腫瘍内科（31診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部（4診療施設）

1-5 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開院年月日	2009年3月2日
許可病床数	無床
外来患者数	外来延人数 34,347人 1日外来平均 128人
診療科等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 入学試験状況

(1) 医学部

推薦入学試験 (公募制・指定校制)

第1次試験 2018年11月11日(日)

同合格発表 2018年11月16日(金)

第2次試験 2018年11月25日(日)

同合格発表 2018年11月29日(木)

一般入学試験

第1次試験 2019年1月29日(火)

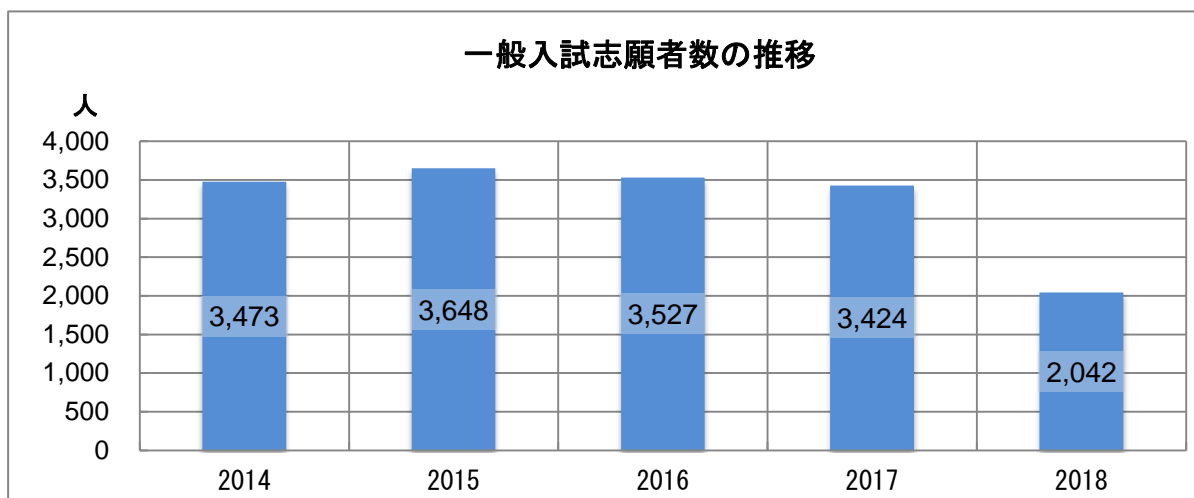
同合格発表 2019年2月5日(火)

第2次試験 2019年2月9日(土)・10日(日)のいずれか1日

同合格発表 2019年2月15日(金)

区分	募集人員	志願者数	入学者数
推薦	30名	143(73)名	30(22)名
一般	85名	1,899(710)名	85(31)名
合計	115名	2,042(783)名	115(53)名

(括弧内数字は女子学生数)



(2) 大学院

第1次入学試験 2018年11月2日(金)

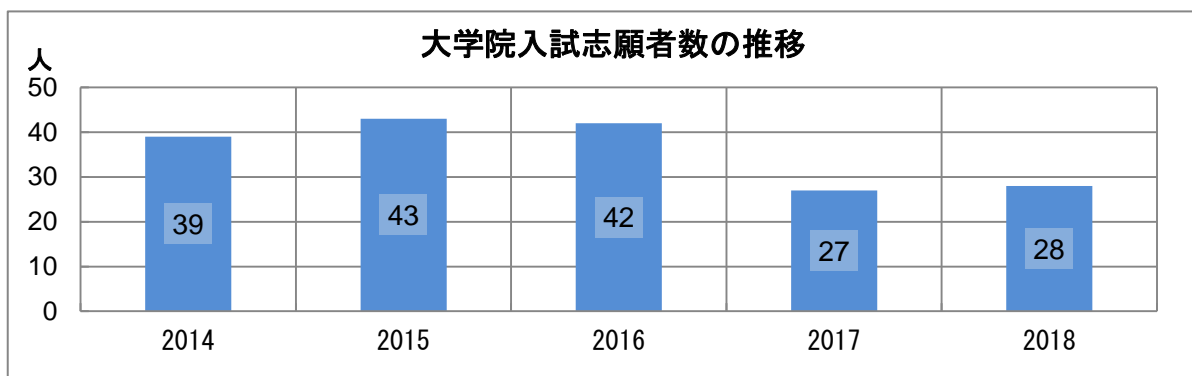
同合格発表 2018年12月6日(木)

第2次入学試験 2019年1月11日(金)

同合格発表 2019年2月7日(木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数
医科学系	60名	28(11)名	28(11)名

(括弧内数字は女子学生数)

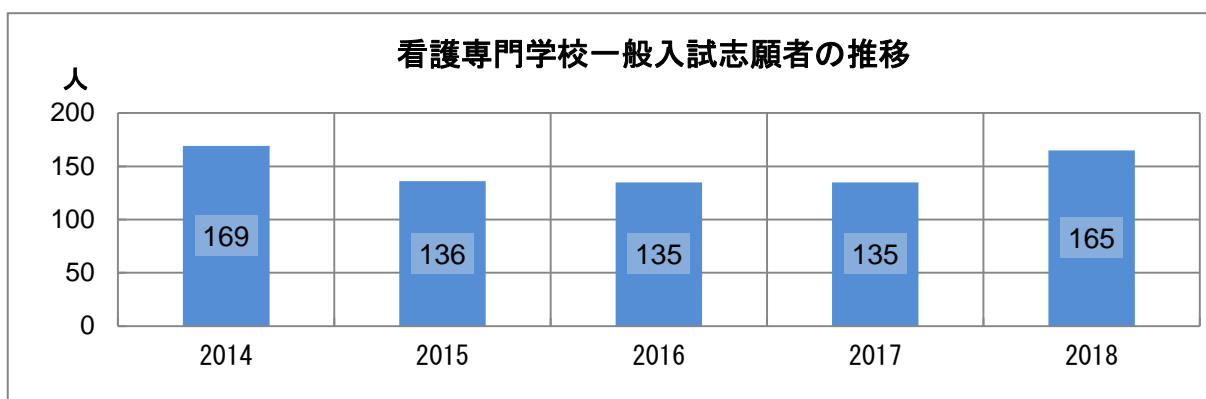


(3) 看護専門学校

推薦入学試験	2018年10月27日(土)
同合格発表	2018年10月30日(火)
一般入学試験	
第Ⅰ期試験	2019年1月6日(日)
同合格発表	2019年1月9日(水)
第Ⅱ期試験	2019年3月21日(木)
同合格発表	2019年3月22日(金)

区分	募集人員	志願者数	入学者数
推薦	20名	44(1)名	39(1)名
特別選抜	20名	26(6)名	9(2)名
一般	40名	165(16)名	41(3)名
合計	80名	235(23)名	89(6)名

(括弧内数字は男子学生数)



3. 学生在籍者数

(1) 医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	115 名	122 (46) 名
2 学 年	115 名	113 (40) 名
3 学 年	115 名	125 (51) 名
4 学 年	115 名	124 (41) 名
5 学 年	115 名	107 (44) 名
6 学 年	115 名	122 (46) 名
合 計	690 名	713 (268) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(2) 大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60 名	27 (4) 名
2 学 年	60 名	37 (4) 名
3 学 年	60 名	37 (6) 名
4 学 年	60 名	34 (11) 名
合 計	240 名	135 (25) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(3) 看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80 名	89 (6) 名
2 学 年	80 名	87 (7) 名
3 学 年	80 名	67 (2) 名
合 計	240 名	243 (15) 名

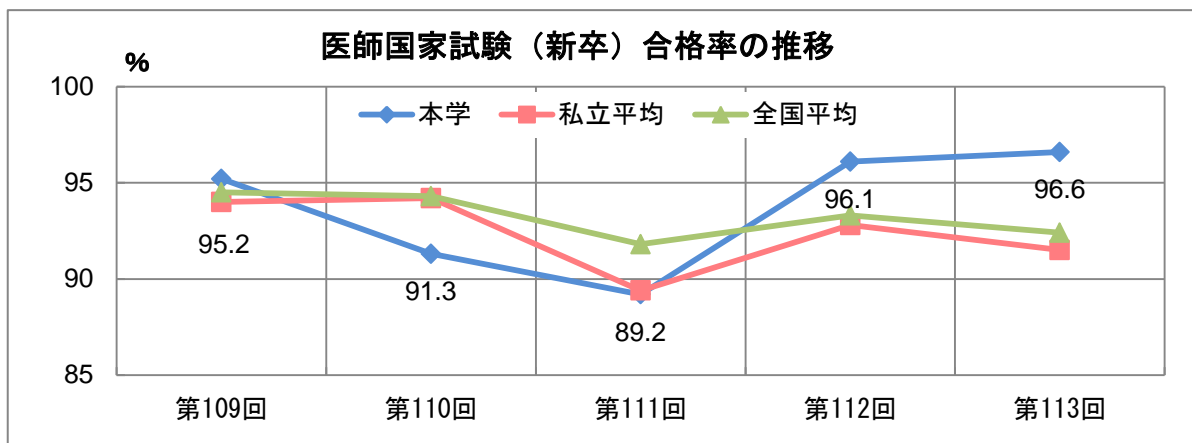
(括弧内数字は男子学生数)

4. 国家試験合格状況

(1) 第 113 回医師国家試験合格状況

第 113 回医師国家試験は、本学の合格者数は 119 名、合格率 96.0%で、前年度に続き全国平均の合格率を上回る結果となりました。

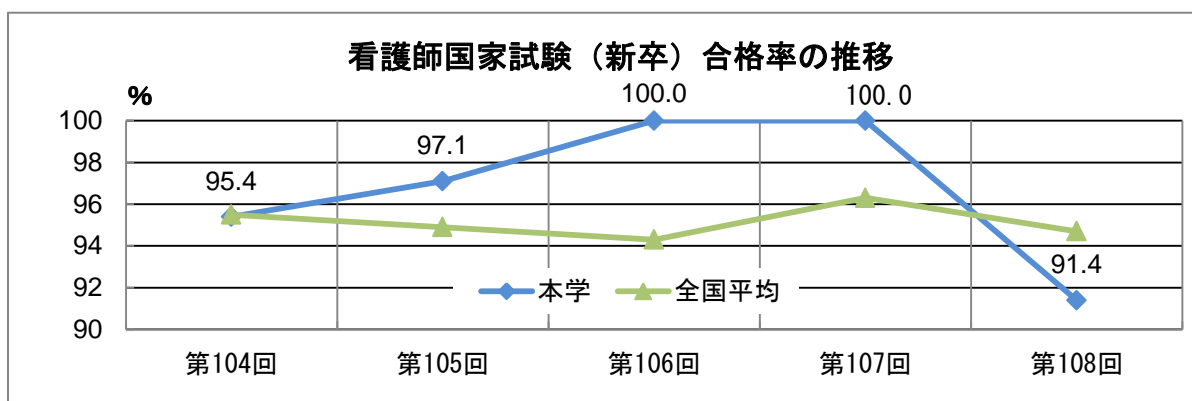
	新 卒	既 卒	全 体
受 験 者 数	116 名	8 名	124 名
合 格 者 数	112 名	7 名	119 名
本 学 合 格 率	96.6%	87.5%	96.0%
私立医科大学平均合格率	91.5%	63.8%	88.9%
全 国 平 均 合 格 率	92.4%	56.8%	89.0%



(2) 第108回看護師国家試験合格状況

第108回看護師国家試験の合格率は91.4%で、全国平均の合格率を下回る結果となりました。
 なお、合格者53名のうち47名が本学附属病院等に入職しました。

新 卒	
受 験 者 数	58名
合 格 者 数	53名
本 学 合 格 率	91.4%
全 国 平 均 合 格 率	94.7%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課 程 修 了 に よ る も の	31件
論 文 提 出 に よ る も の	9件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2018年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部門	補助者	件数	交付金額
医学部	国庫補助金	1件	2,240,994千円
	川崎市	1件	
	私学事業団	1件	
大学病院	国庫補助金	2件	382,040千円
	神奈川県	7件	
	川崎市	8件	
東横病院	国庫補助金	1件	5,556千円
	神奈川県	1件	
	川崎市	5件	
西部病院	国庫補助金	3件	154,692千円
	神奈川県	3件	
	横浜市	4件	
多摩病院	国庫補助金	1件	676,782千円
	神奈川県	3件	
	川崎市	3件	
看護専門学校	神奈川県	2件	39,118千円
	川崎市	2件	
法人合計			3,499,182千円
内訳	国庫補助金		2,299,790千円
	地方公共団体補助金等		1,199,392千円

(2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2018年度科学研究費補助金は、次のとおり申請279件に対し新規採択が34件、継続採択が60件の合計94件に対し、124,300千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は12.19%です。

研究種目	新規			継続	
	申請件数	件数	金額	件数	金額
新学術領域研究	1件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(A)	2件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)(一般)	4件	0件	0千円	5件	16,600千円
基盤研究(B)(特設分野)	0件	0件	0千円	0件	0千円
基盤研究(B)(海外)				1件	3,900千円
基盤研究(C)	163件	25件	37,600千円	41件	39,500千円
挑戦的研究(開拓)	1件	0件	0千円	0件	0千円
挑戦的研究(萌芽)	22件	1件	2,900千円	0件	0千円
若手研究	86件	8件	10,300千円	13件	13,500千円
合計	279件	34件	50,800千円	60件	73,500千円

7. 主な施設・設備の更新等

2018年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

施設関係	看護師寮下地の取得
	難病治療研究センター吸収式冷温水発生器2基更新工事
設備関係	教育棟教室プロジェクター更新
	学生カルテ用電子カルテ端末増設
	医学部本館講堂電動スクリーン一式導入

◆ 大学病院

施設関係	夜間救急センター空冷エアコン更新工事
	病院別館1階熱傷センター改修工事
設備関係	中枢神経侵襲的微小電位計測システム一式取得
	新生児病棟支援システム取得
	超音波診断装置更新

◆ 東横病院

施設関係	5階病棟・1階外来ブース改修工事
設備関係	手術室カメラシステム一式更新
	超音波診断装置更新

◆ 西部病院

施設関係	エレベータ1号機・空調機設備更新
設備関係	汎用X線透視診断装置更新
	冷凍アブレーション装置更新

◆ 多摩病院

設備関係	体外衝撃波結石破碎装置取得
	白内障手術装置取得

◆ プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

設備関係	医療情報システムオーダー端末増設
------	------------------

◆ 看護専門学校

施設関係	校舎サッシ改修
設備関係	教室AVシステム機器更新

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2018年度は、近年の重点課題である『菅生キャンパス・リニューアル計画の実行に必要な財務基盤の強化』を継続した予算編成方針に基づきスタートしました。診療部門においては、人員増に伴う増収効果が十分でなく、人件費の上昇や直接材料費の増加により、前年度を下回る収益となりました。また、当期からリニューアル事業が本格化し、看護師寮の解体やシンジケートローンの新規組成などにより管理経費も増加しました。来期は新病院棟が着工し、金融機関・私学事業団からの資金調達が始まるとともに、消費税増税も予定されており、増収増益策の果敢な実行と緻密な資金・予算管理の両立が必要となっています。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)			(単位 百万円)		
勘定科目	2018年度決算①	2018年度補正②	2017年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,282	4,283	4,237	△ 1	45
寄付金収入	437	541	411	△ 104	26
補助金収入	2,822	2,761	2,755	61	67
医療収入	56,303	56,516	55,081	△ 213	1,222
その他の収入	11,825	11,851	11,275	△ 26	550
資金収入調整勘定	△ 7,039	△ 10,409	△ 8,836	3,370	1,797
当年度収入合計(A)	68,630	65,543	64,923	3,087	3,707
借入金等収入(1)	200	200	1,000	0	△ 800
前年度繰越支払資金	7,867	7,867	8,072	0	△ 205
収入の部合計	76,697	73,610	73,995	3,087	2,702
(支出の部)					
勘定科目	2018年度決算①	2018年度補正②	2017年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	28,402	28,408	27,789	△ 6	613
教育研究経費支出	2,924	2,977	2,982	△ 53	△ 58
医療経費支出	29,119	28,891	28,342	228	777
管理経費支出	2,112	2,039	1,806	73	306
施設・設備関係支出	2,091	2,139	2,134	△ 48	△ 43
借入金等利息支出	30	30	36	0	△ 6
その他の支出	11,370	10,915	11,551	455	△ 181
資金支出調整勘定	△ 9,384	△ 9,419	△ 9,730	35	346
当年度支出合計(B)	66,664	65,980	64,910	684	1,754
借入金等返済支出(2)	324	323	1,218	1	△ 894
次年度繰越支払資金	9,709	7,307	7,867	2,402	1,842
支出の部合計	76,697	73,610	73,995	3,087	2,702
当年度資金差額(A)-(B)	1,966	△ 437	13	2,403	1,953
借入金差額(1)-(2)	△ 124	△ 123	△ 218	△ 1	94

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2018決算 ①	2018補正 ②	2017決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,282	4,283	4,237	▲ 1	45
	寄付金収入	358	341	411	17	▲ 53
	経常費等補助金収入	2,763	2,677	2,646	86	117
	医療収入	56,303	56,516	55,081	▲ 213	1,222
	その他の収入	2,233	2,267	2,211	▲ 34	22
	収入合計(A)	65,939	66,084	64,586	▲ 145	1,353
支出	人件費支出	28,402	28,408	27,789	▲ 6	613
	教育研究経費支出	2,924	2,977	2,982	▲ 53	▲ 58
	医療経費支出	29,119	28,891	28,342	228	777
	管理経費支出	2,102	2,034	1,806	68	296
	支出合計(B)	62,546	62,310	60,919	236	1,627
調整勘定等(C)	1,824	▲ 1,664	287	3,488	1,537	
資金差額(D=A-B+C)	5,217	2,110	3,954	3,107	1,263	

2018年度は、**教育研究診療活動により、5,217百万円(D)**の資金差額を得ました。

調整勘定等(C)の予算差異3,488百万円は、当期末の未収入金や未払金が増減したことによるものです。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等の活動▲2,454百万円(H)**をくわえた資金差額は2,763百万円(D+H)となります。

この二つの活動と借入金返済を含む**財務活動等▲921百万円(N)**を合わせた資金差額1,842百万円(Q)が繰越資金の増減額となります。2019年度へは**9,709百万円(P)**の支払資金を繰り越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金4,552百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支		2018決算 ①	2018補正 ②	2017決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	寄付金・補助金収入	139	285	110	▲ 146	29
	その他の収入	65	65	8	0	57
	収入合計(E)	204	350	118	▲ 146	86
支出	施設・設備関係支出	2,091	2,139	2,134	▲ 48	▲ 43
	その他の支出	66		19	66	47
	支出合計(F)	2,157	2,139	2,153	18	4
調整勘定等(G)	▲ 501	▲ 277	▲ 1,611	▲ 224	1,110	
資金差額(H=E-F+G)	▲ 2,454	▲ 2,066	▲ 3,646	▲ 388	1,192	
資金差額小計(D+H)	2,763	44	308	2,719	2,455	

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等

収入	借入金等収入(I)	200	200	1,000	0	▲ 800
	収益事業収入				0	0
	その他の収入	748	673	672	75	76
	収入合計(J)	948	873	1,672	75	▲ 724
支出	借入金等返済支出(K)	324	323	1,218	1	▲ 894
	借入金等利息支出	30	30	36	0	▲ 6
	その他の支出	1,082	1,124	931	▲ 42	151
	支出合計(L)	1,436	1,477	2,185	▲ 41	▲ 749
調整勘定等(M)	▲ 433			▲ 433	▲ 433	
資金差額(N=J-L+M)	▲ 921	▲ 604	▲ 513	▲ 317	▲ 408	

2018年度の借入金等収入200百万円(I)は、期中の運転資金借入です。(当年度内に返済済みです。)

多摩病院の収益事業活動に伴う純利益は、マイナスとなったため、学校会計への繰り入れはありません。

前年度繰越支払資金(O)	7,867	7,867	8,072	0	▲ 205
次年度繰越支払資金(P)	9,709	7,307	7,867	2,402	1,842
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)	1,842	▲ 560	▲ 205	2,402	2,047
内訳					
借入金差額(R=I-K)	▲ 124	▲ 123	▲ 218	▲ 1	94
当年度資金差額(S=Q-R)	1,966	▲ 437	13	2,403	1,953

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」(従来の帰属収支差額)は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2018決算 ①	2018補正 ②	2017決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,282	4,283	4,237	▲1	45
	寄付金	361	342	415	19	▲54
	経常費等補助金	2,763	2,677	2,646	86	117
	医療収入	56,303	56,516	55,081	▲213	1,222
	その他の収入	2,233	2,267	2,212	▲34	21
	収入合計(A)	65,942	66,085	64,591	▲143	1,351
支出	人件費	28,601	28,643	27,871	▲42	730
	教育研究経費	3,390	3,444	3,437	▲54	▲47
	医療経費	31,049	30,824	30,480	225	569
	管理経費	2,192	2,127	1,903	65	289
	その他の支出	14	13	11	1	3
	(減価償却額)	(2,348)	(2,563)	(2,557)	▲215	▲209
支出合計(B)	65,246	65,051	63,702	195	1,544	
収支差額(C=A-B)	696	1,034	889	▲338	▲193	

事業活動の本業にあたる教育活動(研究・診療活動を含む)では、前年度に比べ医療収入が増加し**65,942百万円(A)**を計上しました。

支出面では前年度より人件費、医療経費が増加し、**教育活動収支差額は、前年度より193百万円減、補正後予算より338百万円減の696百万円(C)**を計上しました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支		2018決算	2018補正	2017決算	差異	差異
収入	受取利息・配当金他	39	39	53	0	▲14
	収益事業収入				0	0
	収入合計(D)	39	39	53	0	▲14
支出	借入金等利息	30	30	36	0	▲6
	その他の支出				0	0
	支出合計(E)	30	30	36	0	▲6
収支差額(F=D-E)	9	9	17	0	▲8	
経常収支差額(G=C+F)	705	1,043	906	▲338	▲201	

また、財務活動による収入39百万円(D)に対し、借入金等利息30百万円(E)を支出したため、**教育活動外収支差額は9百万円(F)**、教育活動収支差額を合わせた**経常収支差額は705百万円(G)**となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支		2018決算	2018補正	2017決算	差異	差異
収入	資産売却差額	14	14		0	14
	寄付金・補助金収入	157	297	120	▲140	37
	その他の収入	1		4	1	▲3
	収入合計(H)	172	311	124	▲139	48
支出	資産処分差額	92	87	42	5	50
	その他の支出	11	5	6	6	5
	支出合計(I)	103	92	48	11	55
特別収支差額(J=H-I)	69	219	76	▲150	▲7	

50周年記念事業募金や教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による**特別収支差額は69百万円(J)**です。

基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	774	1,262	982	▲488	▲208
基本金組入額(L)	▲1,306	▲1,440	▲1,643	134	337
当年度収支差額(M=K+L)	▲532	▲178	▲661	▲354	129
前年度繰越収支差額(N)	▲63,129	▲63,129	▲62,471	0	▲658
基本金取崩額(O)	122		3	122	119
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲63,539	▲63,307	▲63,129	▲232	▲410

(参考)

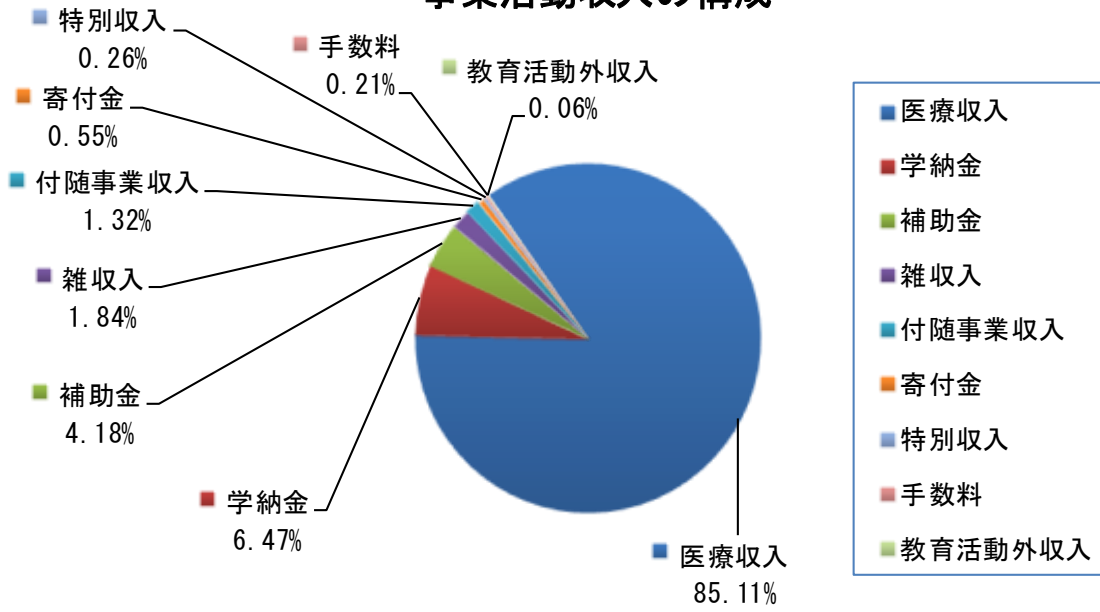
事業活動収入計(Q)	66,153	66,435	64,768	▲282	1,385
事業活動支出計(R)	65,379	65,173	63,786	206	1,593

この結果、事業活動収支差額は、前年度を208百万円下回る**774百万円(K)**となりました。また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は**▲63,539百万円(P)**となっています。

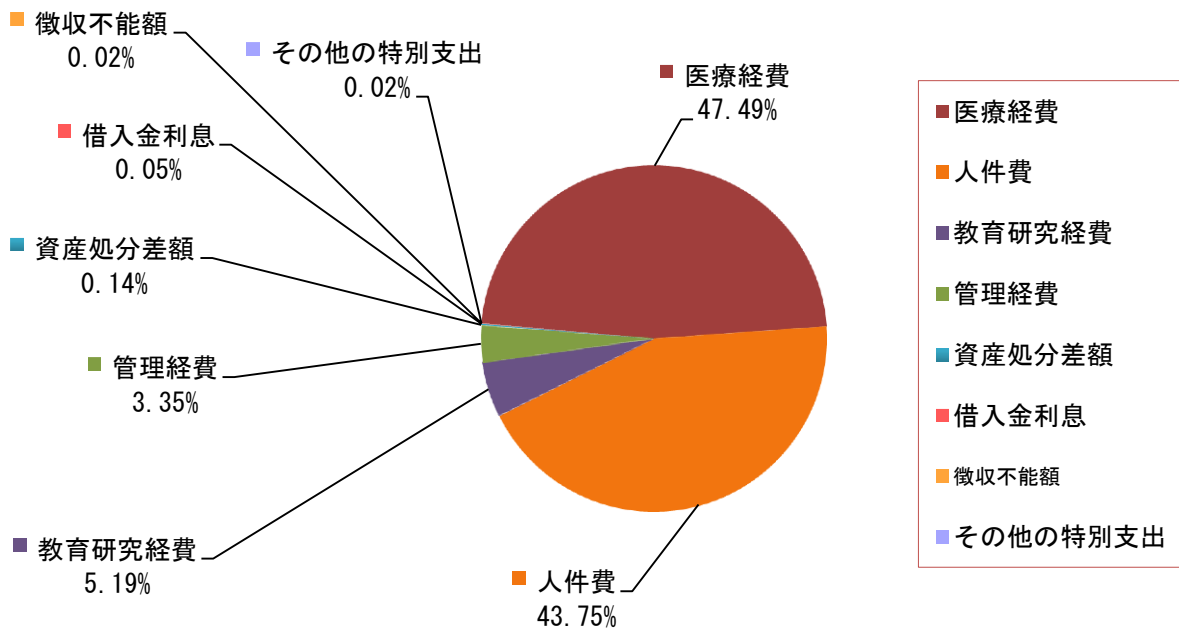
尚、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を1,385百万円上回り**66,153百万円(Q)**となりました。

※科目ごとに百万円未満四捨五入により必ずしも合計で一致しない

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)とも言われ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の純資産の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	36,459	36,319	140	固定負債	12,743	12,656	87
有形固定資産	32,695	32,926	▲ 231	長期借入金	760	884	▲ 124
土地・建物・構築物	65,702	65,738	▲ 36	退職給与引当金	11,983	11,772	211
機器備品	21,023	20,945	78	その他の負債			0
その他の資産	3,319	2,582	737	流動負債	11,641	11,660	▲ 19
減価償却累計額	▲ 57,349	▲ 56,339	▲ 1,010	短期借入金	124	123	1
特定資産	1,678	1,663	15	未払金	9,667	9,654	13
その他の固定資産	2,086	1,730	356	その他の負債	1,850	1,883	▲ 33
有価証券	225	225	0	負債の部合計	24,384	24,316	68
収益事業元入金	111	111	0	基本金	93,720	92,536	1,184
その他の資産	1,750	1,394	356	1号基本金	88,661	87,477	1,184
				2号基本金	0	0	0
流動資産	18,106	17,404	702	3号基本金	507	507	0
現金・預金	9,709	7,867	1,842	4号基本金	4,552	4,552	0
その他の資産	8,397	9,537	▲ 1,140	繰越収支差額	▲ 63,539	▲ 63,129	▲ 410
				純資産の部合計	30,181	29,407	774
合計	54,565	53,723	842	合計	54,565	53,723	842

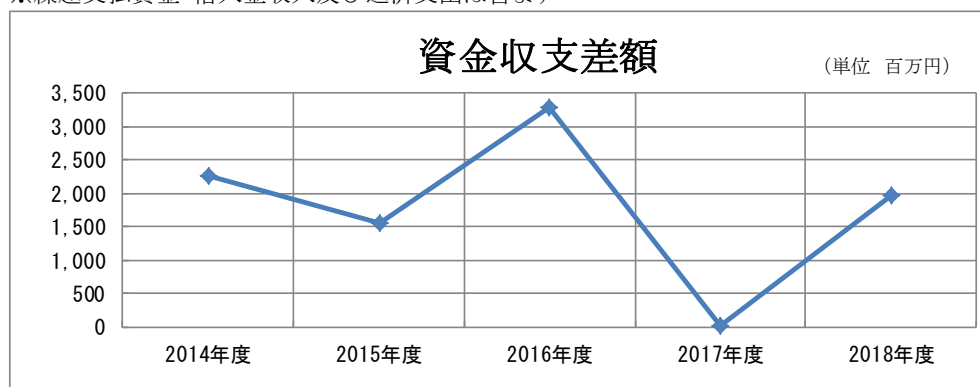
(5) 財務比率などの推移 [2013年度より多摩病院を収益事業会計として区分経理]

① 資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学納金	4,043	4,099	4,240	4,237	4,282
補助金	2,811	2,662	2,755	2,755	2,822
医療収入	50,117	51,307	53,332	55,081	56,303
その他	2,738	2,972	3,534	2,850	5,223
資金収入計	59,709	61,040	63,861	64,923	68,630
人件費	25,545	26,201	26,855	27,789	28,402
教育研究経費	2,730	2,761	2,755	2,982	2,924
医療経費	25,157	25,604	26,593	28,342	29,119
その他	4,014	4,911	4,381	5,797	6,219
資金支出計	57,446	59,477	60,584	64,910	66,664
資金収支差額	2,263	1,563	3,277	13	1,966

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



② 事業活動収支差額及び消費収支差額推移表

2015年度より、学校法人会計基準の一部改正に伴い計算書類の様式が変更になったため、収支差額を、2014年度以前の消費収支計算書、2015年度からの事業活動収支計算書の2様式で表記

・ 2014年度以前の計算書
による収支差額

(単位 百万円)

勘定科目	2014年度
学納金	4,043
補助金	2,811
医療収入	50,117
その他	3,091
帰属収入計	60,062
人件費	25,862
教育研究経費	3,211
医療経費	27,241
その他	2,034
消費支出計	58,348
帰属収支差額	1,714

※帰属収支差額

= 帰属収入 - 消費支出

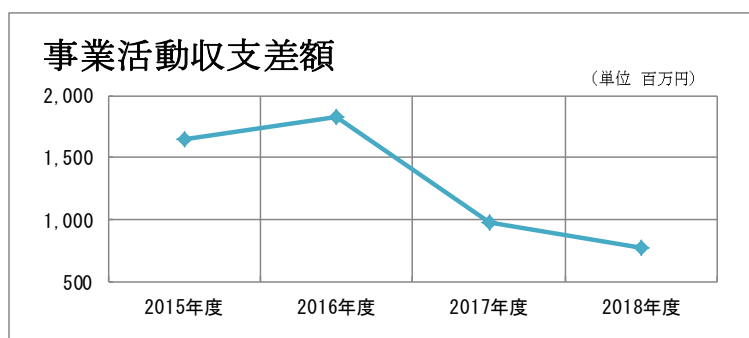
・ 2015年度からの計算書
による収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学納金	4,099	4,240	4,237	4,282
補助金	2,662	2,755	2,755	2,822
医療収入	51,307	53,332	55,081	56,303
その他	2,995	2,769	2,695	2,746
事業活動収入計	61,063	63,096	64,768	66,153
人件費	26,426	26,977	27,871	28,601
教育研究経費	3,260	3,233	3,437	3,390
医療経費	27,692	28,581	30,480	31,049
その他	2,038	2,473	1,998	2,339
事業活動支出計	59,416	61,264	63,786	65,379
事業活動収支差額	1,647	1,832	982	774

※事業活動収支差額

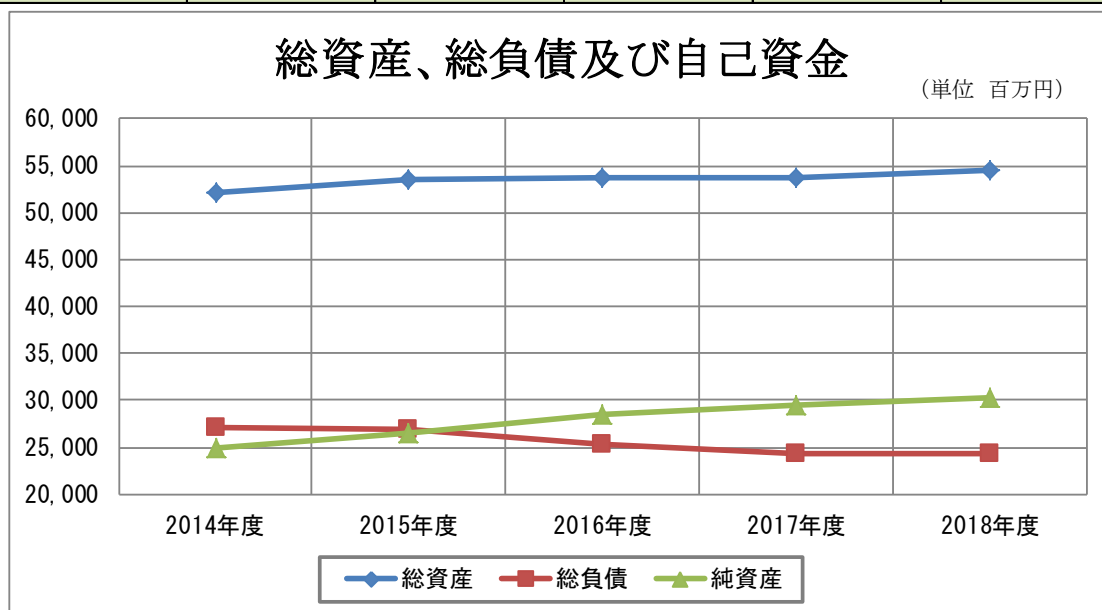
= 事業活動収入 - 事業活動支出



③財政状況表

(単位 百万円)

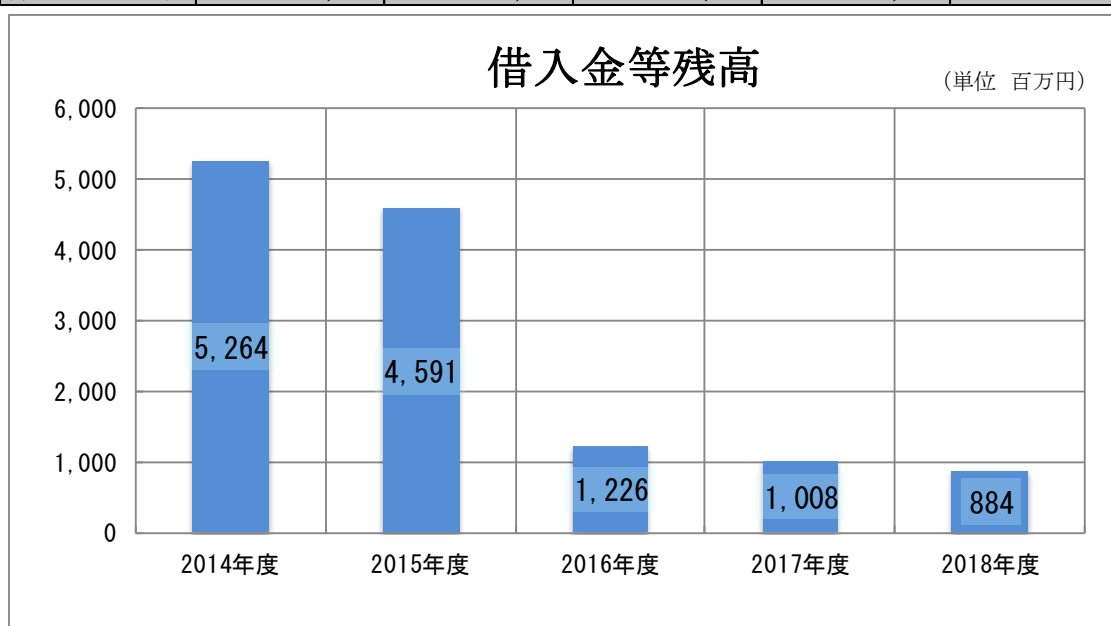
科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定資産	37,449	36,252	36,707	36,319	36,459
流動資産	14,652	17,208	17,025	17,404	18,106
総資産	52,101	53,460	53,732	53,723	54,565
固定負債	16,257	15,640	12,783	12,656	12,743
流動負債	10,898	11,227	12,524	11,660	11,641
総負債	27,155	26,867	25,307	24,316	24,384
純資産	24,946	26,593	28,425	29,407	30,181



④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
借入金	5,264	4,591	1,226	1,008	884
学校債	0	0	0	0	0
合計	5,264	4,591	1,226	1,008	884



⑤財務比率一覧

〔 2015年度より、学校法人会計基準の一部改正に伴い計算書類の様式が変更になったため、2014年度以前の財務比率一覧表、2015年度からの計算書関係比率表の2様式で表記 〕

2015年度からの計算書関連比率表

(1)貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	67.8%	68.3%	67.6%	66.8%	↓
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	61.5%	61.8%	61.3%	59.9%	↓
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.0%	3.1%	3.1%	3.1%	～
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	32.2%	31.7%	32.4%	33.2%	↑
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	29.3%	23.8%	23.6%	23.4%	↑
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	21.0%	23.3%	21.7%	21.3%	↑
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-31.5%	-28.6%	-27.1%	-23.4%	↑
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-7.6%	-4.7%	-2.9%	0.1%	↓
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	49.7%	52.9%	54.7%	55.3%	↑
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-115.0%	-116.3%	-117.5%	-116.4%	↑
11	固定比率	固定資産／純資産	136.3%	129.1%	123.5%	120.8%	↓
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	85.8%	89.1%	86.3%	84.9%	↓
13	流動比率	流動資産／流動負債	153.3%	135.9%	149.3%	155.5%	↑
14	総負債比率	総負債／総資産	50.3%	47.1%	45.3%	44.7%	↑
15	負債比率	総負債／純資産	101.0%	89.0%	82.7%	80.8%	↑
16	前受金保有率	現金預金／前受金	935.8%	928.0%	857.5%	1134.3%	↑
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	97.1%	98.0%	99.6%	99.7%	↑
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	32.2%	32.1%	31.2%	29.9%	～
20	積立率	運用資産／要積立額	14.7%	14.4%	13.8%	16.1%	↑

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2)事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	43.43%	42.82%	43.11%	43.35%	↓
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	644.20%	636.25%	657.85%	667.89%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	50.90%	50.49%	52.47%	52.20%	↓
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	2.89%	2.97%	2.94%	3.32%	↓
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.27%	0.19%	0.06%	0.05%	↑
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	2.70%	2.90%	1.52%	1.17%	↓
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	99.76%	101.67%	101.05%	100.82%	↑
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	6.74%	6.73%	6.55%	6.49%	～
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.75%	0.74%	0.66%	0.69%	↑
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.73%	0.71%	0.64%	0.55%	↓
10	補助金比率	補助金／事業活動収入	4.36%	4.37%	4.25%	4.27%	↑
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	4.28%	4.27%	4.09%	4.19%	↑
11	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	2.46%	4.50%	2.54%	1.97%	↑
12	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	4.30%	4.07%	4.01%	3.60%	～
13	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	2.47%	3.51%	1.40%	1.07%	↓
14	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	2.53%	3.64%	1.38%	1.06%	↓

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3)活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	6.70%	7.76%	6.12%	7.91%	↑

(注)教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

2015年度以前の財務比率一覧表

区分	算式	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	全国平均
固定資産構成比率	固定資産／総資産	74.8%	75.0%	74.5%	76.7%	71.9%	85.6%
有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	68.4%	68.8%	67.8%	69.1%	65.5%	59.3%
その他の固定資産構成比率	その他の固定資産／総資産	6.4%	6.3%	6.7%	7.6%	6.4%	26.3%
流動資産構成比率	流動資産／総資産	25.2%	25.0%	25.5%	23.3%	28.1%	14.4%
固定負債構成比率	固定負債／総資金	43.3%	41.7%	35.7%	33.0%	31.2%	8.7%
流動負債構成比率	流動負債／総資金	27.2%	25.0%	23.7%	21.2%	20.9%	5.6%
内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	△38.9%	△35.4%	△27.2%	△23.3%	△17.6%	26.4%
運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／消費支出	△13.4%	△9.2%	△2.1%	0.1%	5.0%	1.5%
自己資金構成比率	自己資金／総資金	29.5%	33.3%	40.5%	45.8%	47.9%	85.7%
消費収支差額構成比率	消費収支差額／総資金	△113.1%	△117.2%	△113.6%	△122.2%	△118.2%	△16.6%
固定比率	固定資産／自己資金	253.4%	225.3%	183.9%	167.4%	150.1%	99.9%
固定長期適合率	固定資産／(自己資金＋固定負債)	102.7%	100.1%	97.7%	97.3%	90.9%	90.7%
流動比率	流動資産／流動負債	92.9%	99.8%	107.4%	110.0%	134.5%	255.0%
総負債比率	総負債／総資産	70.5%	66.7%	59.5%	54.2%	52.1%	14.3%
負債比率	総負債／自己資金	238.9%	200.2%	146.8%	118.2%	108.9%	16.7%
前受金保有率	現金預金／前受金	604.9%	551.1%	737.5%	670.2%	920.1%	369.4%
基本金比率	基本金／基本金要組入額	90.0%	92.0%	92.8%	95.4%	96.1%	97.0%
減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	60.8%	61.8%	62.9%	64.6%	66.1%	50.3%
人件費比率	人件費／帰属収入	44.5%	44.7%	42.7%	43.5%	43.1%	48.3%
人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	700.1%	781.5%	758.1%	649.7%	639.6%	94.0%
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	48.7%	48.9%	48.0%	50.3%	50.7%	36.4%
管理経費比率	管理経費／帰属収入	2.9%	3.1%	3.1%	3.0%	3.0%	7.3%
借入金等利息比率	借入金等利息／帰属収入	0.7%	0.6%	0.4%	0.4%	0.3%	0.2%
帰属収支差額比率	(帰属収入－消費支出)／帰属収入	2.4%	2.6%	5.7%	2.7%	2.9%	6.5%
消費収支比率	消費支出／消費収入	100.1%	101.4%	97.5%	102.5%	99.6%	106.0%
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／帰属収入	6.4%	5.7%	5.6%	6.7%	6.7%	51.4%
寄付金比率	寄付金／帰属収入	1.2%	1.4%	1.3%	1.2%	0.9%	3.1%
補助金比率	補助金／帰属収入	5.5%	5.9%	5.5%	5.2%	4.7%	10.0%
基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	2.5%	4.0%	3.3%	5.1%	2.5%	11.7%
減価償却費比率	減価償却額／消費支出	4.6%	4.0%	3.9%	4.7%	4.3%	10.1%

注) 全国平均: 日本私立学校振興・共済事業団の「平成27年度版今日の私学財政」の「平成26年度 財務比率比較表(大学法人)」数値

注) 総資金＝負債＋基本金＋消費収支差額 自己資金＝基本金＋消費収支差額 運用資産＝その他の固定資産＋流動資産

外部負債＝総負債－(退職給与引当金＋前受金)

注) 運用資産余裕比率の単位は(年)である

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

●貸借対照表

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
流動資産	2,446	2,337	109	流動負債	2,213	1,968	245
現金・預金	853	806	47	未払金他	2,213	1,968	245
未収入金	1,523	1,505	18	固定負債	1,793	1,796	▲ 3
その他	70	26	44	退職給与引当金	1,793	1,796	▲ 3
固定資産	1,178	1,235	▲ 57	負債の部合計	4,006	3,764	242
有形固定資産	1,750	1,577	173	純資産	▲ 382	▲ 192	▲ 190
減価償却累計額	▲ 650	▲ 491	▲ 159	元入金	111	111	0
その他	78	149	▲ 71	繰越利益剰余金	▲ 493	▲ 303	▲ 190
			0	純資産の部合計	▲ 382	▲ 192	▲ 190
合 計	3,624	3,572	52	合 計	3,624	3,572	52

(2) 損益計算書

●損益計算書

単位(百万円)

		2018決算 ①	2018補正 ②	2017決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医 療 収 入	9,679	9,487	9,356	192	323
	補 助 金	677	675	675	2	2
	そ の 他	185	177	158	8	27
	小 計	10,541	10,339	10,189	202	352
費 用	医 療 経 費	3,954	3,954	3,829	0	125
	人 件 費	5,148	5,132	4,921	16	227
	(医 師)	(1,072)	(1,062)	(974)	(10)	(98)
	負 担 金	693	693	691	0	2
	そ の 他	936	938	849	▲ 2	87
	小 計	10,731	10,717	10,290	14	441
当期純利益		▲ 190	▲ 378	▲ 101	188	▲ 89

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校会計から経理を区分しています。

医師の人件費が100%計上される収益事業会計の当期純利益は▲190百万円となり、期末の純資産は▲382百万円となりました。(繰越利益剰余金が▲の場合、当期純利益の学校会計繰入は行いません。)

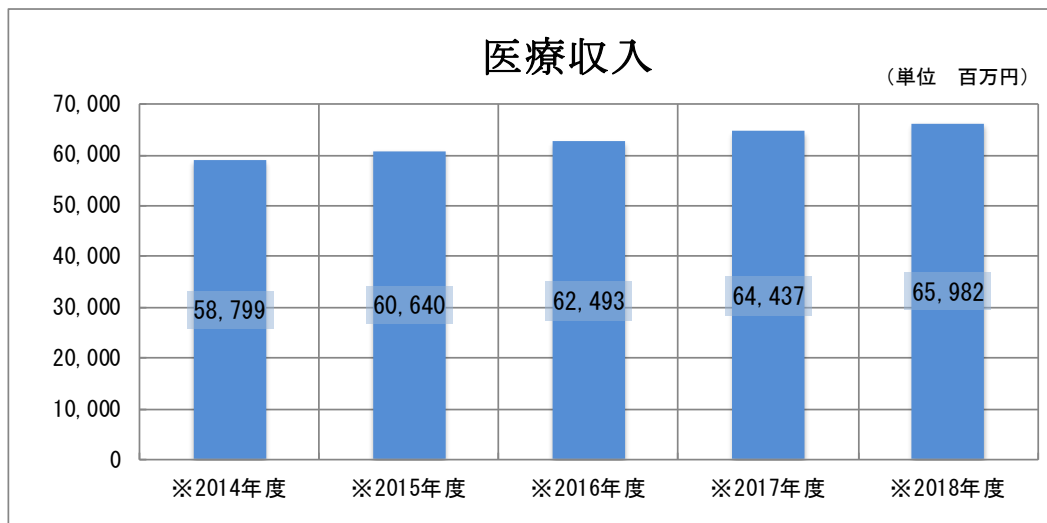
4. 附属病院等の状況

(1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部 門	※2014年度	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度
大 学 病 院	32,777	32,792	34,289	35,405	36,691
東 横 病 院	3,112	3,401	3,607	3,782	3,460
西 部 病 院	13,365	14,204	14,528	15,019	15,293
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	863	910	908	875	859
多 摩 病 院	8,682	9,333	9,161	9,356	9,679
合 計	58,799	60,640	62,493	64,437	65,982

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

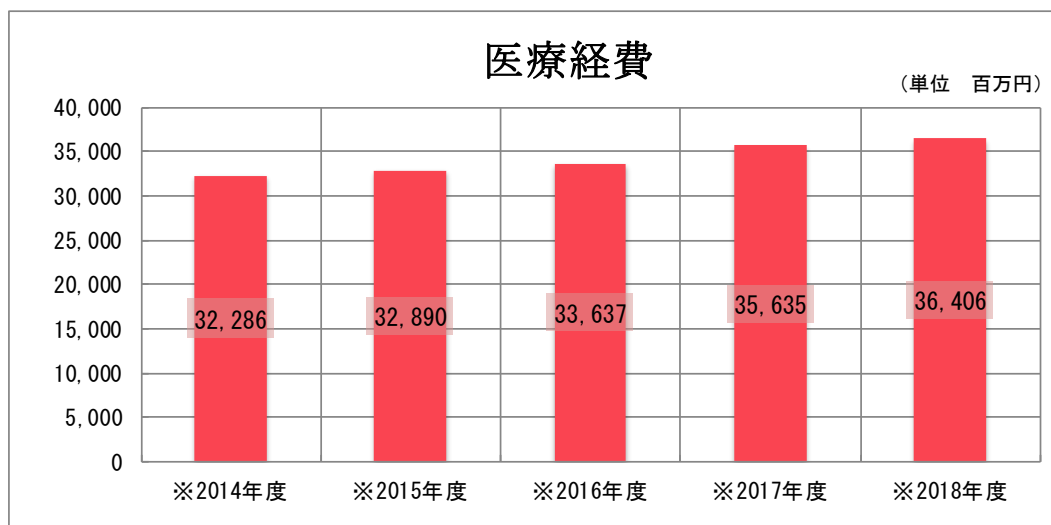


(2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部 門	※2014年度	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度
大 学 病 院	16,490	16,319	17,197	18,455	19,353
東 横 病 院	1,943	2,043	2,089	2,176	1,955
西 部 病 院	8,083	8,591	8,575	9,149	9,081
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	725	739	720	700	659
多 摩 病 院	5,045	5,198	5,056	5,155	5,358
合 計	32,286	32,890	33,637	35,635	36,406

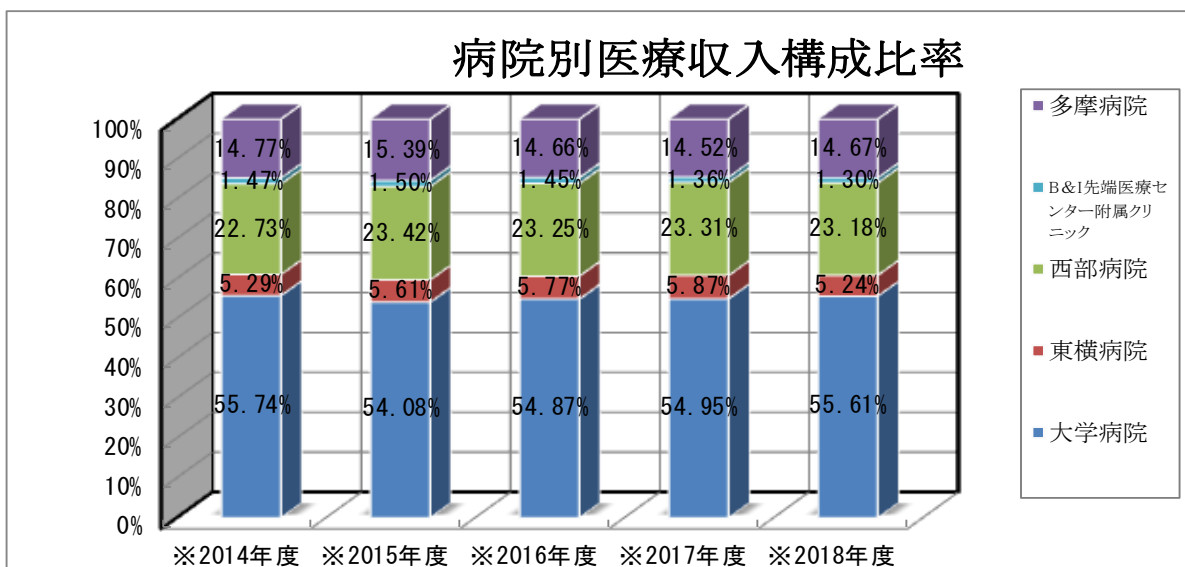
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



(3) 病院別医療収入構成比率推移表

部 門	※2014年度	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度
大 学 病 院	55.74%	54.08%	54.87%	54.95%	55.61%
東 横 病 院	5.29%	5.61%	5.77%	5.87%	5.24%
西 部 病 院	22.73%	23.42%	23.25%	23.31%	23.18%
B&I先端医療センター附 属 クリ ニ ッ ク	1.47%	1.50%	1.45%	1.36%	1.30%
多 摩 病 院	14.77%	15.39%	14.66%	14.52%	14.67%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%

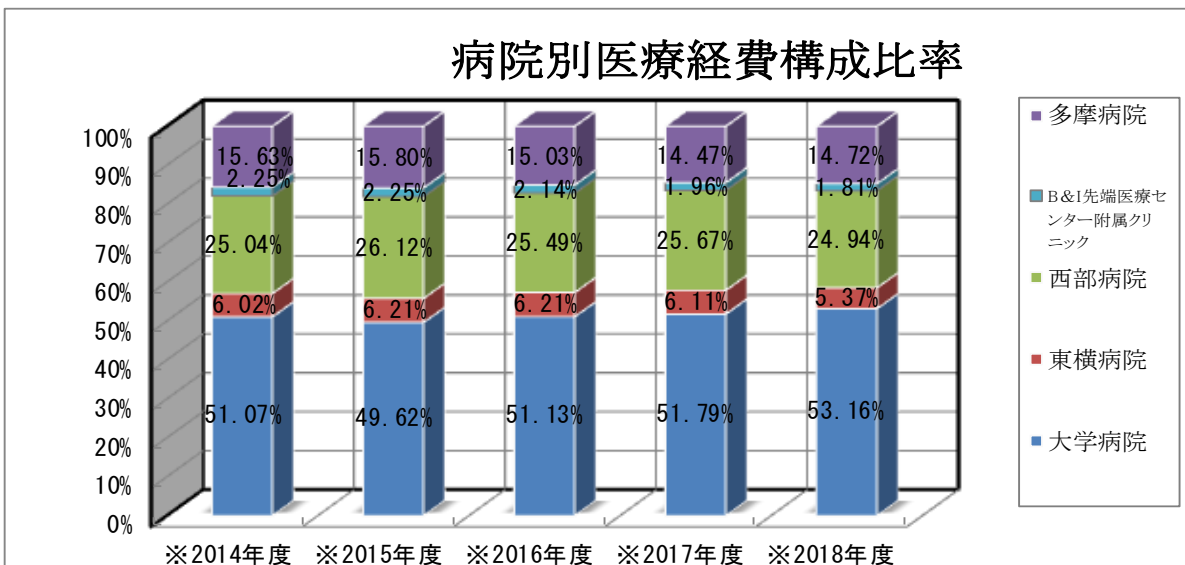
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



(4) 病院別医療経費構成比率推移表

部 門	※2014年度	※2015年度	※2016年度	※2017年度	※2018年度
大 学 病 院	51.07%	49.62%	51.13%	51.79%	53.16%
東 横 病 院	6.02%	6.21%	6.21%	6.11%	5.37%
西 部 病 院	25.04%	26.12%	25.49%	25.67%	24.94%
B&I先端医療センター附 属 クリ ニ ッ ク	2.25%	2.25%	2.14%	1.96%	1.81%
多 摩 病 院	15.63%	15.80%	15.03%	14.47%	14.72%
合 計	100%	100%	100%	100%	100%

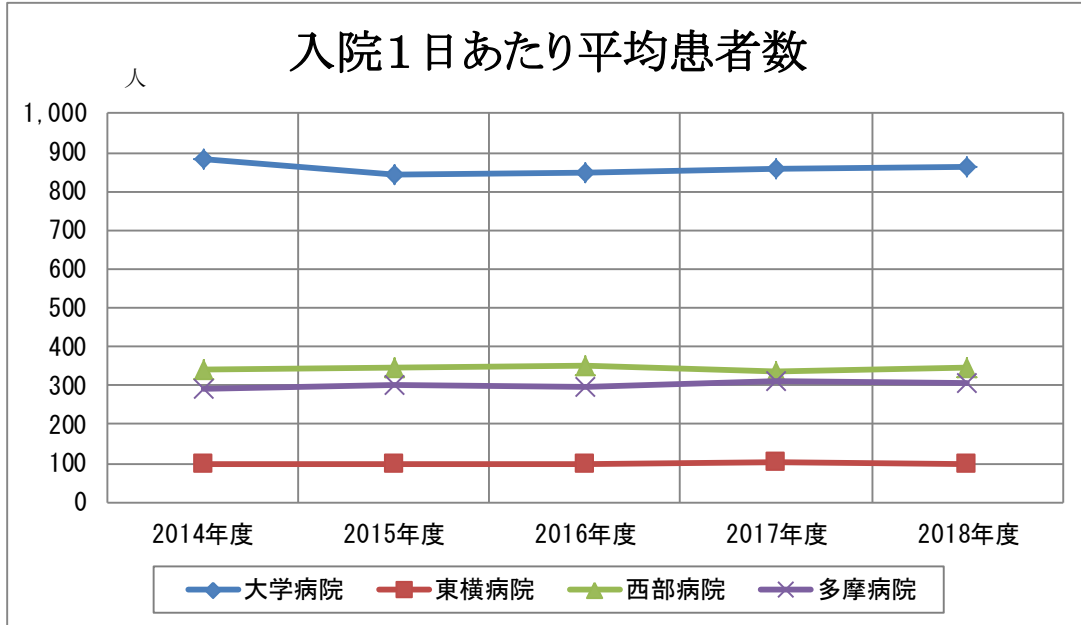
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

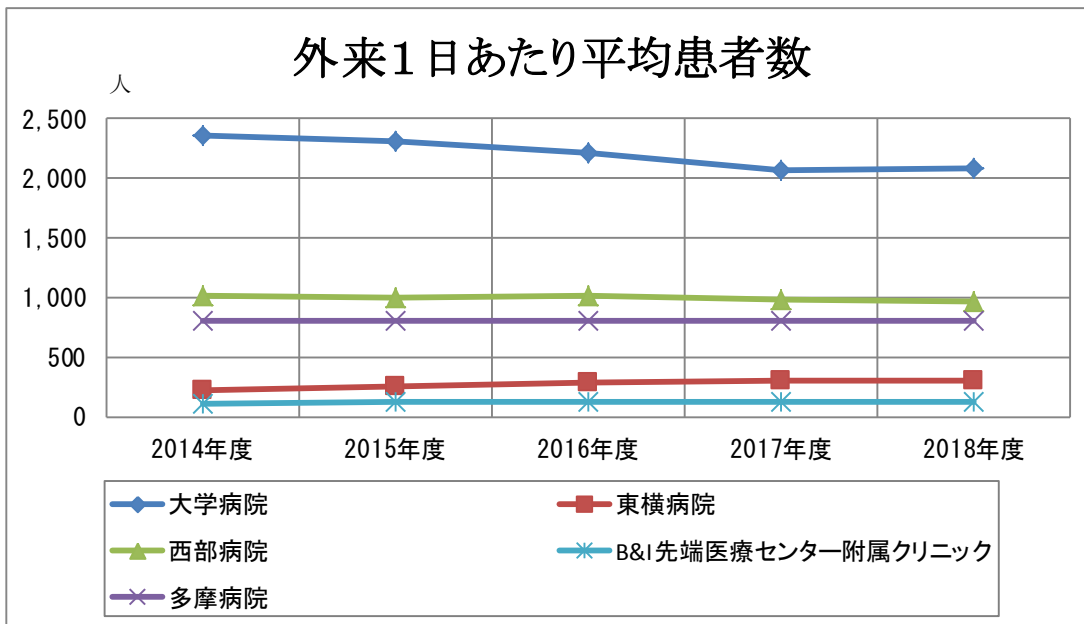
	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
大学病院	881	843	847	856	865
東横病院	96	100	100	105	97
西部病院	339	345	352	338	344
多摩病院	294	304	297	312	308



(6) 病院別外来1日平均患者数

(単位 人)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
大学病院	2,360	2,316	2,209	2,061	2,079
東横病院	220	252	285	298	296
西部病院	1,015	1,004	1,009	979	963
B&I先端医療センター附属クリニック	107	119	130	128	128
多摩病院	798	799	806	804	808



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒 211-0063 川崎市中原区小杉町 3-435

TEL 044-722-2121(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <http://www.marianna-u.ac.jp/>